



交通安全でお願いします

追分老人クラブの皆さんが11月に作成した「しめ縄」を弥生パーキングエリアで配布を行いました。ドライバーに渡されました。

12月としては厳しい寒さとなった9日、交通安全指導員や警察官らと共に「安全運転を」や「運転に気をつけて」の言葉を添え、250個のしめ縄と一緒に年末・年始の交通安全祈願の啓発活動を行いました。

日赤救急講習会

11日追分公民館を会場に救急講習会が開催されました。不測の事故や病気の方の救助は適切な初期対応が重要とされており、医師や救急隊員到着までの応急手当などを一般の方に学んでもらう講習会です。

町内では消防署主催の講習会も実施されていますが、今回は苦小牧市救急法赤十字奉仕団指導員によるもので受講後の検定合格者には基礎講習修了者認定証が渡されました。



狩猟免許出前教室

安平・厚真広域鳥獣被害対策協議会主催の「狩猟免許出前教室・エゾシカくくりわな等講習会」が14日早来町民センターで開催されました。

はじめに胆振総合振興局より年々増加する農林業被害に対し狩猟者減少の現状や免許取得試験に向けた方法等の説明が行われ、続けて北海道猟友会苦小牧支部安平部会の蛭名部会長からくくりわなの種類や取り扱い方法、動作の実演等もあわせて行われました。

コミュニティ助成事業で地域コミュニティ充実!

追分青葉町内会では、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の助成を受け、青葉会館(安平町追分白樺2丁目3番地1)に除雪機など「除雪用備品」の購入を行いました。

この事業は、全国自治宝くじ受託事業収入を財源として、コミュニティ活動の促進、宝くじ普及広報を目的として行われるものです。

今回の助成事業で、よりいっそう地域の交流、憩いの場としての施設機能が充実

し、さらにコミュニティ活動が促進されるものと期待されます。



講習を終えた18名の中には「来年の狩猟免許試験を受けてみたい」との声も聞かれ狩猟者増加が期待されます。

※狩猟免許試験は2月5日に全道の各振興局で実施が予定されています。
今回の出前教室に参加されていなくても受験資格を満たせば受験が可能ですので北海道のホームページ等でご確認ください。